

防災について



金子 進
議員

私たちは30年前に発生した阪神・淡路大震災や14年前に発生した東日本大震災、そして昨年発生した能登半島地震などの大震災を経験していますので、災害に対する対策は十分できているように思いますが、しかし災害は、いつ、どこで起こるか分からないので、以下について伺います。

- ①備蓄品の保管方法と配備状況。②災害廃棄物の受け入れ場所の確保と処理方法。③災害廃棄物の処理について、市民への啓発の取り組み。

○市長公室長

①令和元年東日本台風の教訓から令和2年度以降、初動対応分として食料品や飲料水などを市内69カ所の避難所に分散備蓄しています。②春日部市地域防災計画において災害廃棄物の仮置場の候補地として旧谷原中学校西側約8万8000平方メートル、旧谷原中学校東側約4万平方メー

ルを選定しています。

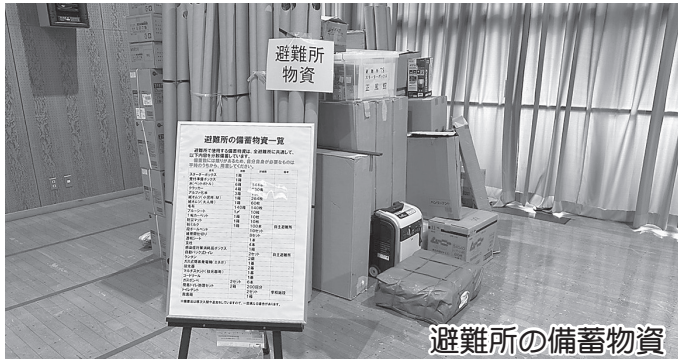
廃棄物処理に関しては、災害廃棄物処理計画に基づき、迅速かつ適正に収集運搬、処分することとし、道路の復旧状況や周辺生活環境の状況などを踏まえ、収集運搬体制を構築することとしています。

○環境経済部長

③災害に備えて各家庭でできることや、災害が発生した際に生活ごみと災害ごみを分けることなどをイラストで分かりやすくまとめ、市のホームページにも掲載しています。

このほか

○附属機関の見直しについて



放課後児童クラブでも自由にポケット型Wi-Fiを



石川 友和
議員

今年度より学校で月100GB契約のポケット型Wi-Fiを用意し、放課後児童クラブでも宿題などで使用可能になりました。

放課後児童クラブにおいての使用方法にかなりの制限があるように感じるので確認の意味も含め、以下伺います。

- ①学校におけるポケット型Wi-Fiの使用状況について。②8月1日から放課後児童クラブでも使用可能となったが、実際の状況について。③お盆期間中など、学校に先生が居ない期間の貸し出しについて。

○各学校にポケット型Wi-Fiを2台ずつ用意している

のであれば、学校と放課後児童クラブでそれぞれ1台ずつ所持することはできないのか。

○学校教育部長

①校内のWi-Fi電波が届かない場所や校外学習用として使用しています。

- ④クラス単位の接続に2台が必要となるため、学校で管理しますが、可能な限り貸し出しについて協力していきます。

○こども未来部長

②8月1日時点で放課後児童クラブにおいてWi-Fiを利用できる環境にありました18校で使用しています。

③借用する際は、その日のうちに返却することが条件となっていることから、学校の先生が不在の期間は使用できない状況でした。

このほか

○家庭用防犯カメラ補助金について

市立医療センターの経営状況と今後の対応について



鬼丸 裕史
議員

春日部市立医療センターは、令和6・7年度と、入院外来の収益や患者数、救急受入件数や手術件数、紹介患者数などを着実に伸ばしてきているにもかかわらず、2年連続の赤字となっています。

現行の診療報酬が近年の急激な物価高・人件費高騰など

に対応しきれないと考えています。

そのような中で、医療センターの経営状況の見通しと、今後の対応についてお伺いします。

○病院事務部長

令和7年4月から8月までの経営状況を令和6年度の同時期と比較した場合、給与費、材料費などは依然厳しい状況が続いています。

しかし、入院や外来の患者数は前年度よりも多い状況が続く、収益では月間の過去最高の数値を示すこともあり、救急受入件数、手術件数、紹介患者数も全体的に増加傾向にあるため、下半期に数値を伸ばすことができれば、経営状況は改善の方向に向かうものと考えています。

今後については、現在の経営状況悪化の大きな要因が医療機関の経営努力、自助努力のみでは対応することが非常に困難なものであることから、引き続き市長会や病院会などから国への要望を行うとともに、春日部市立医療センター経営強化プランに基づく取り組みを着実に推進し、経営基盤の強化に努めていきたいと考えています。

こどもから高齢者まで 楽しめる温水市民 プールの建設を



並木 敏恵
議員



危険な猛暑で、夏休みでも外で遊んでいるこどもは、ほとんどいませんでした。「市民プールがほしい」と決して少なくない市民が願っています。こどもから高齢者まで楽しめる温水市民プールを建設すべきと思いますが、「市民プールは造らない」というのはなぜですか。

危険な暑さからこどもたちと市民を守り、こどもも大人も高齢者も家族連れでも楽しめる室内温水プールは、市民の根強いニーズからも気候危機の現状からも検討すべきですが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

市民プール建設に関する要望が市民意見提出手続などで寄せられていることは認識しています。スポーツ施設マネジメント計画および春日部市総合体育施設整備基本計画においては、プール建設は位置付けされていません。他の自

治体でも大規模改修などの財源確保が困難なことから、公設プールを廃止するところもあり、レジャー型プールの建設は難しいと考えています。

○市長

まずは、教育環境を第一に考え、八木崎小学校の屋内温水プールを早期に整備し、学校教育に支障のない範囲で市民の皆さまがご利用いただけるよう取り組んでいきたいと思っています。

このほか

○春日部市公共施設マネジメント基本計画は、市民要望に應える見直しを

北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一
議員



北春日部駅周辺地区土地区画整理事業は、北春日部周辺のまちづくりとして、内牧地区まちづくり研究会で、内牧公園、公共交通（路線バス）とともに活発な議論がなされています。公共交通二丁ズのアンケートが実施されましたが、区画整理事業の計画では

商業施設建設が予定され、朝日バス北春日部駅乗り入れの期待が高まっています。また、都市計画道路開通で宮代町と生活圏が一体となること、検討が進められている病院の誘致による交流人口の増加など、周辺地域への波及効果は想像を絶するものがあります。

今一度、本事業への市長の意気込みをお聞かせください。

○市長

北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、北春日部駅周辺の良好な立地環境を生かして、地域の魅力向上と利便性の高いまちを形成する事業であり、内牧地区の皆さまのみならず、本市の発展のためには大変重要な事業と位置付けているところです。

本事業は、土地区画整理組合や地域の皆さま、関係各位の多大なるご尽力により、今年2月に工事を着手することができています。市としましても、本市議会の皆さまのご理解とご協力を賜りながら、本事業を成功させるため可能な限り支援をしていきます。

このほか

○森林環境譲与税について
○こどもの居場所づくりについて

病気に悩む方々を 本気で支える 春日部市に



古沢 耕作
議員



いま、働いている方の約4割が何らかの病気を抱え、通院されながら仕事をしています。私自身、けいれん性発声障害という、少し珍しい病気を抱えています。病気があっても安心して暮らしている社会、春日部市を築いていくことが、大変重要だと考えます。まず、そのことについて市はどう考えるのか。担当する健康保険部長が、ご自身の業務や日常生活でのご経験を踏まえてご答弁ください。

次に、病気には高血圧症や糖尿病などの生活習慣病から特定疾病や指定難病までさまざまありますが、本市のがん患者の方への支援について伺います。

○健康保険部長

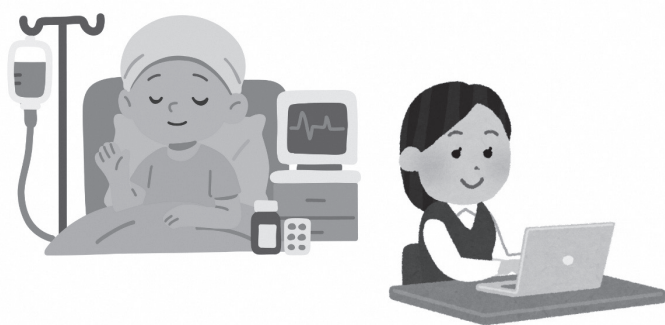
私も定期的な検査を受けながら、病気の早期発見に努めています。

病気の予防はもちろん、たとえ健康を損なっても、安心

して暮らせる地域づくりを進めることが重要です。この考え方の下、本市の健康プロジェクトのひとつ「健康をはぐくむまちプロジェクト」を推進しています。

がん患者への支援は、令和6年度より、以下の助成金交付事業を開始しました。①ウイッグや胸部補整具の購入に対する助成。②40歳未満で回復の見込みが難しい方が対象で訪問介護や福祉用具の貸与・購入の助成。

このほか
○豊野地域の交通課題の早期解決を



粕壁南公民館は廃止せず 社会教育施設の確保を



木下三枝子
議員



粕壁南公民館は公共施設マネジメント計画において、老朽化から集約化・統合化の対象であり教育センター再整備計画案の中で廃止することが示されました。しかし、令和6年度は3万6549人の利用があり、市内公民館の平均利用人数3万1399人と比較しても大変高い利用状況であり、サークル数も多く、かすかべ茶屋や幼児家庭教育学級など幅広い年代に活用されている実績があります。

事業数も利用者数も多く、市も地域に根差した公民館であると認識している粕壁南公民館は廃止せず、請願も提出されていることから市民の意見に寄り添い、改修や建て替えて地域の社会教育の場を確保してほしいのですが、市長の見解を伺います。

○市長

粕壁南公民館は、建築から43年が経過し、旧耐震基準の

施設であり、公共施設マネジメントの観点からは、集約化などの対象となっています。

アンケート調査で施設利用者の72%の方から、公共施設は、機能・役割の移転や集約・複合化をしていくべきとの市民意見により、市として再整備を決定したものです。

なお、再整備後の教育センターは、さらに機能の充実を図り、利用者の利便性の向上と交流が一層図られるよう計画をしているところです。

このほか

○気候変動を考慮した水と緑と風のまちの実現を



未来を担うこどもの 居場所づくりについて



中村 貴彰
議員



買物や用事を済ませ夜によりやく家へたどり着く、そんな毎日を必死に走り続ける保護者の姿に子育て世代が背負う重さを痛感しています。今こそ、多様な働き方に合わせた柔軟な制度が必要です。また、こどもの居場所は単なる預かりの場ではなく、こどもたちが夢を描き可能性を広げられる大切な居場所です。安心できる環境を整えるとともに、元教員や元公務員など専門性を持つ人材の力を生かしながら「見守りの質」を一層高めていくことが重要だと考えています。春日部市のこどもたちが、幼少期から青年期まで切れ目なく安心して成長できる環境を整えるために、こどもの居場所づくりをどのように推進するのか伺います。

○市長

こども・若者が切れ目なく安心して成長できる環境の整備は、春日部市こども・若者

計画にもあるとおり、地域や産学官が連携しての多様な体験や経験ができる空間の創出や地域資源を生かした多様な体験活動の場の創出などにより、こども・若者の多様な居場所の充実を図っていきます。また、居場所づくりに向けたっては、議会での議論も踏まえ、こども・若者自身の参画も得ることにより、地域への愛着形成やまち全体での居場所づくりを今後も推進していきたいと考えています。

このほか

○脊柱側わん症について
○百日ぜきについて

国民健康保険税の 見直しについて



水沼日出夫
議員



国民健康保険税の見直しが始まった埼玉県と春日部市の取り組みの背景と、今後の保険税賦課の見通しと考え方を伺います。

○健康保険部長

埼玉県が策定した埼玉県国民健康保険運営方針(第3期)では、県内における国保財政

のさらなる安定化と被保険者間の公平性の確保を図るため、令和12年度から県内どの市町村に住んでも同じ世帯構成、所得であれば、同じ保険税となる保険税水準の統一を目指しています。

この方針において、市町村は令和8年度までに赤字とされる法定外一般会計繰入金を解消することや、令和9年度には県が示す標準保険税率とおりの税率に合わせることが求められています。

また、本市の国民健康保険は令和4年度以降、収支不足を補填するため、国保財政調整基金の取崩しや一般会計からの繰入金により対応するなど、極めて厳しい財政状況となっています。

今後においては、保険税の急激な負担増とならないよう配慮しつつ、保険税水準の統一を目指す県の方針に基づいた適切な税率となるよう、段階的な税率改定を市の国民健康保険運営協議会や市議会から意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えています。

このほか

○豊春増戸地区における道路網再整備の道程について